



# 国際バスケットボールリーグ ニッポントルネード対バンクーバータイタンズ

## 日本バスケットチーム バンクーバーのプロチームと対戦



技術的にはあまり差を感じさせなかったスピーディーなプレイ (写真提供 Vancouver Sports Pictures)

5月24日、バンクーバー郊外のラングレーイベントセンターにて、今年から国際バスケットボールリーグ (IBL) に初の日本人チームとして参加している「ニッポントルネード」が、カナダのプロチーム「バンクーバータイタンズ」との試合を行った。結果は 88 対 148 でニッポントルネードの敗北という残念な結果に終わったが、最後まで決して諦めない日本人選手のプレーは、日本人だけでなく多くの人に感動をもたらした。

### 日本人バスケットボールチーム IBL に参戦

国際バスケットボールリーグ (IBL) とは、アメリカやカナダのプロチームだけでなくアジアのチームなども参加して行われるリーグで、今年で5年目となる。そして、今年日本から「ニッポントルネード」が参加している。ニッポントルネードは IBL に参加するための、日本人選手だけで構成されたチームで、今回が初の参加となる。5月24日に行われたリーグ後半第13戦目、トルネードはバンクーバーにホームを置くカナダのプロチーム「バンクーバータイタンズ」と対戦した。

試合は初めトルネードが先制し、その後も高さで圧倒するタイタンズに対し、トルネードもチームワークと正確なシュートで確実に得点を稼ぎ、僅差での攻防が続いた。しかし、時間の経過と共にトルネードの選手たちに先日までの連戦と移動の疲れが見え始め、日本の得点率が落ちていった。その後は徐々に点差が開いてゆき、最終的には 60 点という大差



福田幹也選手 28 歳。「これからも高いレベルのバスケを続けていきたい」という。「スピーディーなバスケと忍耐強さで頑張るので応援よろしく」



河相智志選手 27 歳。広島の社会人クラブチームから参加。プロを目指すため、会社を辞めてきたという



片岡大晴選手 23 歳。「自分たちが頑張らないと次がない」「日本の人が応援に来てくれて勇気がもらえる」と話す



杉脇大輔選手 32 歳。カナダのリーグで7年間プレー。「ホームゲームがないので、日本人に応援に来てほしい」と語る



田村大輔選手 28 歳。今回の IBL 参加で自分もこっちでやっていけると確信したという。大阪から参加



梅田智之選手 29 歳。熊本のクラブチームでプレーする一子供たちにバスケを教える。この IBL 参加を子供たちの道しるべにしたいと語る



大塚史瑚選手 28 歳。以前はアメリカのチームでもプレー。今後も海外のリーグでやっていきたいという



仲摩匠平選手 22 歳。今回は途中からの参加。機会があれば来年も参加したいと語る。「頑張りますのでよろしく」



伊藤邦茂選手 24 歳。夢はアメリカでプレーすること。子供たちに夢を持って、チャレンジしてほしいと語る



富山晋司アシスタントコーチ 28 歳。思ったより日本人がやれる事はたくさんあったという。日本では中学校で指導



奥本友人選手 22 歳。日本の大学を卒業後、ニッポントルネードに参加。今後は日本のプロリーグを目指す予定